



「医療専攻」たより

新潟県立小出高等学校 最終号 令和5年4月6日

これまでのご支援、本当にありがとうございました！

3月20日(月)、本校視聴覚教室で令和4年度医療専攻発表会を開催しました。感染症の影響で、Zoomによるリモートでの開催となりましたが、2年間アドバイザーとして多くの学びの機会をくださった小出病院の布施克也院長先生を前に、生徒たちはこれまでの感謝とこれからの決意を伝えるべく、精一杯発表会に臨みました。この発表会を開催できたのも、小出病院様をはじめ、これまでご協力いただいた医療講演会講師の先生方や魚沼基幹病院様、北里大学保健衛生専門学院様のおかげであると生徒ともども深く感謝いたしております。

当日のプログラム

- 1 開会挨拶
- 2 アドバイザー紹介
- 3 医療専攻プログラムの紹介
- 4 グループ別発表
 - ①「難病支援について」
小杉 美月・関口 維吹・小林 福虎・吉田 奈津・高頭 春登・樺澤 ひまり
 - ②「魚沼の最先端医療について（魚沼基幹病院を見学して）」
笠井 優妃・若松 美羽・羽賀 太俊・小池 心温・佐野 凜
 - ③「魚沼の最先端医療について（魚沼基幹病院を見学して）」
荒木 まお・岡田 葵衣・柊澤 友悟・佐藤 秀幸・本田 健斗・山之内 悠太郎
 - ④「上級学校（北里大学保健衛生専門学院）を見学して」
竹原 空杏・星 渚・森山 瑞葉・武田 遊杏・櫻井 瑠子・小岩 楠麻
 - ⑤「小出病院オータムセミナー（なりきり体験:看護師）を通して学んだこと」
上村 琴音・角谷 実来・冷 昀澤・丸山 夏蓮・佐藤 蓮
 - ⑥「小出病院オータムセミナー（なりきり体験:看護師・助産師）を通して学んだこと」
外山 来和・松田 春華・丸山 尊和・小澤 華・柴山 明里
 - ⑦「小出病院オータムセミナー（なりきり体験:救急救命士・作業療法士・理学療法士・臨床検査技師）を通して学んだこと」
関 隼人・山之内 蒼・桑原 和康・富永 隆之介・関 蒼生
 - ⑧「チーム医療、地域包括ケアについて」
岡部 舞穂・滝沢 珠莉・樋口 晴菜・酒井 伯・米山 春希・金井 冠太・南雲 結
- 5 講評
- 6 生徒代表挨拶
- 7 学校長挨拶

〈発表の様子〉

生徒たちは発表テーマに分かれてグループを作り、昨秋の「小出病院オータムセミナー」で体験したことやこれまでの医療講演会で学びとったことを中心にまとめ、発表しました。発表の最後に、「自分が医療従事者になったら・・・」や「・・・できる医療従事者になりたい」とこれからの抱負を述べる生徒もあり、医療職に就きたいという意欲が伺えました。



〔医療専攻プログラムの紹介〕



〔発表の様子〕



〔布施院長先生からの講評〕



〔生徒代表挨拶〕

生徒の感想（医療専攻を通して）

- ・1年間を通して学んできたことが班ごとにスライドにまとめられていて、わかりやすく振り返ることができました。また、今まで学んだことをさらに深く理解することができました。布施院長先生に発表を褒めていただきうれしかったです。医療系の学校へ進学した後にソーシャルキャピタル等をさらに学ぶといいと教えていただいたので、今後さらに医療に関わる問題を学んでいきたいと思いました。
- ・私は医療専攻プログラムの中で「難病支援」に最も興味がありました。私の祖母はALSで8年前に亡くなりました。私はまだ小学校3年生だったので、ALSについて全くと言っていいほど知っていたことがありませんでした。1つだけ知っていたことは「治らない病気」ということだけでした。高校生になり医療人を目指すなかで、もう一度難病についてしっかりと学ぶことができてよかったです。実際に難病を患っている方からお話を伺うことで、自分にできることも浮かんできたように思います。
- ・2年間の医療専攻では普通の高校生活では学ぶことのできない数多くのことを学び、経験することができました。医療専攻を通して学んだことを活かし、自分のできることを常に見つけながら、魚沼に貢献することのできる立派な医療人を目指してがんばりたいと思います。
- ・リハーサルの時よりもどの班も大きな声でわかりやすく、とてもよい発表になっていました。発表する直前に変更したところもありましたが、グループ全員がしっかりと発表することができ大成功でした。時間をかけて作成したスライドや文章を褒めてもらい、やりがいを感じました。医療専攻を選択したことで新しい考えが浮かび、ものの見方も変わり、自分自身とても成長することができました。この経験は自分にとってとても大きな財産になると思っています。